

つわのまさこ 市政レポート

2025.11 vol.8

発行：さいたま市議会議員 津和野眞佐子



市議会9月定例会が9月3日から10月17日まで45日間の日程で開催されました。令和7年度補正予算案のほか、令和6年度の決算議案についても審議しました。

私、つわのまさこは、本会議の一般質問に立ち、いじめ防止対策など7項目14件について質問・提言しました。その他、各委員会でも質問に立ちました。市民の安心・安全、そして未来への投資が確実に進むよう、これからも現場の声を市政へ届け続けます。

ご意見・ご要望はお気軽にお寄せください。

さいたま市議会議員 津和野眞佐子

令和7年9月定例会 議案・補正予算ピックアップ

放課後子ども居場所事業

市内25校での本格実施に向け、運営経費の債務負担行為（複数年度にわたる予算の約束、3年間で総額2億3,282万6千円）を設定。また、放課後児童クラブがない学校に専用室を整備するための施設整備費を補正。国の要綱改正に伴う民設クラブ委託基準額の改定対応も含む。



この事業は、すべての児童が身近な小学校で安心して過ごせる放課後の場を提供する取組です。令和7年度は市内13校で実施され、南区では大谷場東小学校でスタートしています。引き続き現場の声を丁寧に伺いながら、改善と拡充を求めてまいります。



ごみ発電を活用したエネルギーマネジメント業務



ごみ焼却施設で発電された余剰電力を市立学校や配水場で活用し、「電力の地産地消」を推進。令和7～11年度の債務負担行為として約4億6,340万円を設定。本事業によりCO₂排出量を年間約24,420トン削減（市全体の約1%）。



「電力の地産地消」とは、ごみ発電の電気を市内施設で活用する取組です。令和8年7月に事業開始予定。地域で生み出し地域で使う、環境にやさしいゼロカーボンのまちづくりが進みます。

本会議 一般質問より

1. 市長部局におけるいじめ相談体制の構築

Q

全国のいじめ件数は令和5年度に過去最多を更新し、重大事態も大幅に増えています。2月の予算委員会で、いじめ防止対策を市長部局で本格的に取り組み、学校の枠を超えた支援体制を構築するべきと提案しました。これまでにどのような進捗があり、今後どのように取り組まれるのか、お考えをお聞かせください。

A

市長 市に適した仕組みとして、弁護士などの専門家で構成する第三者機関を設置することを検討しています。被害者からの相談に対して助言や支援を行い、当事者同士の解決が難しい場合には関係者間の調整や是正などの勧告を行うことを想定しています。引き続き私が強いリーダーシップを発揮して、いじめの長期化や重大化を防止できる体制を構築していきます。

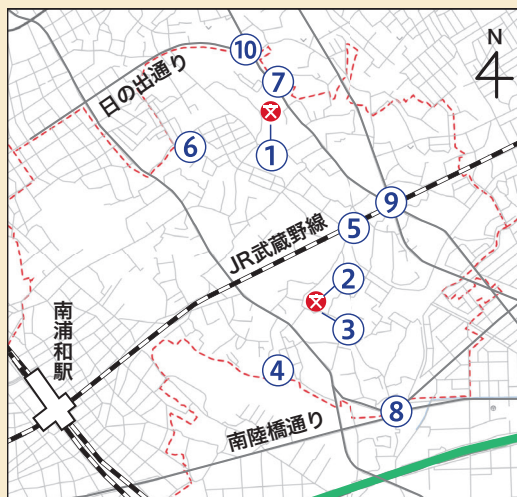


子どもたちの声が埋もれない仕組みとなるよう、引き続き丁寧に見守っていきます。

2年半で実現しました！



- ①大谷口中学校 校舎内全階段に波形手すり設置
- ②善前小学校 体育館脇通路に照明器具2台増設
- ③善前小学校 体育館通路にバリアフリー対応スロープ設置
- ④不動入広場 防火水槽蓋補修、点検口補修
- ⑤大谷口細野公園と篠堤公園 ダイチャリ合計7台設置
- ⑥街路灯の新設設置 ⑦外側線めくれ補修
- ⑧坂下橋交差点歩行者用信号 全時間帯で青31秒+点滅16秒に延長！
- ⑨大谷口陸橋交差点のセパレート信号（右折専用）
午前7時～9時の時間帯 8秒→10秒に延長！
- ⑩大谷口県営住宅交差点 横断歩道信号機の嵩上げ



●その他

カーブミラー設置、植栽伐採、道路補修、点字ブロック補修、放置物撤去、人道橋安全対策など多数

出典：国土地理院

2. 街路灯の事故対策

Q 市内には設置基準を外れた街路灯が多く、管理プレートがあるにもかかわらず、市の保全管理が行われていないケースが見られます。老朽化が進み、灯具の落下や倒壊の危険性も高まっています。実際に昨年12月から今年5月までに4件の事故が発生。これらは劣化調査の対象に含まれていたのでしょうか。

A **市民局長** 街路灯については、損傷の程度を判定する劣化調査を行っています。そのときには問題ありませんでしたが、今回に関しては倒壊などが起きてしまったということです。

Q 市民の安全に直結する問題である以上、再発防止、安全確保をどのように進めていくか具体的な答弁を求めます。

A **市民局長** 今後の維持管理については取り組み方などの調査を進め、適切に行えるようにします。倒壊の危険性が高いものは、予防保全にも努めます。



当時の設置基準では問題がなかったとしても、今の基準で見れば改善が必要な箇所があります。経年劣化や基準外の設置を「仕方ない」で済ませず、是正を進めるべきです。現場を確認し、市民の安心を守るための対応を強く求めています。

3. 公共施設の老朽化対策

谷田公民館・大谷口保育園の複合施設

Q 谷田公民館と大谷口保育園の複合施設では、公民館が入る2階、3階の金属製の柵にさびが発生し、1階の保育園に落下しています。また、公民館のガラス戸のひび割れやエアコンの故障もみられます。1階の保育園の仮移転先が決まらないため、公民館の工事が当初の予定より大きく遅れている状況です。公民館の修繕と、大谷口保育園の今後の方向性について、ご見解を伺います。

A **副教育長** 公民館の予防保全工事については、保育園の仮設園舎のスケジュールが確定次第、速やかに対応する考えです。利用者の安全性に関わる部分については、工事を待たずに適宜修繕を進めています。

A **子ども未来局長** 保育園の近隣の候補となり得る用地について、仮設園舎の建設が可能かどうか検討を行っているところです。活用が見込まれ次第、仮設園舎建設の計画を進めてまいります。



子どもたちと地域住民が共に使う施設だからこそ、安全性の確保とスケジュール管理が欠かせません。市民が安心して利用できる環境が早期に整うよう、引き続き確認していきます。



▲谷田公民館の現状を本会議場で説明

4. 都市計画の長期未着手地区解消に向けて

Q 南区と緑区にまたがる東浦和地区は、都市計画が事業化されないうまま都市計画制限だけが続き、地域の発展が止まっています。現在どのように取り組み、今後どのように進めていく考えですか。

A **都市局長** 関係自治会との意見交換を踏まえ、必要な調査を行っています。本年度中に取り組みの方向性を整理し、地元への意見聴取を丁寧に行いながら長期未着手の解消を進めていきたいと考えています。



長年、都市計画の“まちづくりが止まったまま”の地域があることは、市民にとって大きな不安です。地域の皆さんの思いが形になるよう、方向性を注視し、前に進めていきます。

決算特別委員会より

ESCO 事業による街路灯の設置、維持管理路灯の事故対策

Q 民間業者を活用した街路灯などの省エネ化により利益を出す「ESCO（エスコ）事業（省エネで経費を削減する仕組み）」において、ここ数年、電気料金の過払いやLED灯の不具合など多くの問題が発生しており、不安を感じています。当初の事業計画通り、利益は確保されていますでしょうか。

A **市民生活安全課長** 実際には電気料金そのものが毎月のように変動しているので、計画時点から状況は変わっていると言えます。毎年の実際の電気代の変動と合わせた差額分というのは出ていません。



出ていないのは問題です。長期契約だからこそ、しっかり審査するべきだと考えます。電気料金や機器の不具合など、契約の透明性が問われています。長期契約の仕組みを見直し、市民の信頼を守る仕組みづくりを求めています。

大谷口・太田窪地区の土地区画整備事業

Q 令和12年度までの事業ですが、進捗率は52.8%です。あと5年で本当に終わるのでしょうか。

A **区画整理支援課長** 事業推進で計画を図っておりますが、難しいと考えております。

Q 進まない原因があるのではないかと思います。現状はどのようになっていますか。

A **区画整理支援課長** 玉突き移転や土地の高低差の問題、JRの掘割の擁壁の設計、協議で時間を要しています。



「30年近くも自分たちの住んでいるエリアが変わらない」と、地域の方からため息交じりのお声をいただいています。一歩でも前に進むよう、現場の課題を丁寧に拾い上げ、粘り強く後押しします。



さいたま市政に関する皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

さいたま市議会議員 津和野眞佐子

さいたま市南区広ヶ谷戸233-4 パープルマンション1階C号室



▲ホームページ ▲Instagram

Email: m.tsuwano@gmail.com TEL: 090-8050-1182 <https://m-tsuwano.com/> <https://www.instagram.com/m.tsuwano>